

強度行動障害に取り組む事業所の事例

社会福祉法人はるにれの里

(北海道札幌市)

社会福祉法人はるにれの里概要

- 設立：昭和62年4月
- 法人所在地：北海道札幌市
- 理事長：木村 昭一
- 職員数：340名

～法人の特徴～

- ✓ 北海道札幌市、石狩市を中心に重度自閉症に特化した支援を展開。
- ✓ 札幌及びその近郊においては、自閉症への援助技術を高めるための研究団体として自閉症援助技術研究会が組織され、定期的な例会や学習会、公開講座等を開催。
- ✓ 近年は高機能自閉症者をはじめとした発達障がい者の支援と総合相談機能の確立

【居住系サービス】

厚田はまなす園、札幌市自閉症者自立支援センターゆい（施設入所支援・生活介護）/共同生活援助29カ所

【居宅介護事業・地域活動センター事業】

パーソナルサポートセンターぽけっと、地域活動支援センターえみな、札幌市地域活動支援センター annapurna

【通所施設】

サポートセンターあらいぶ、ぱいえ、レラ・もうらい、さりゅう、ほしのみ、ぼぬーる（生活介護）/ベーカリーショップ こむぎっこ、東米里菌床センター（就労継続支援）/あるば（就労移行支援事業）

【児童発達支援・放課後等デイサービス】

児童発達支援センター さんりんしゃ、多機能型事業所 よかつち

【相談支援事業・療育支援事業】

石狩障がい者就業・生活支援センターのいける、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる、指定相談支援事業ぷろっぷ、指定相談支援事業ぽらりす

【自立訓練（生活訓練）事業所】

自立訓練（生活訓練）事業所 riviere（リビエール）

- ①入所施設厚田はまなす園 定員 30名 実利用者 28名
 障害支援度区分 区分6 26名 区分5 2名
 重度障害者支援加算（Ⅱ）対象者 20名
- ②入所施設自閉症自立支援センターゆい 定員30名 実利用者 30名
 障害支援度区分 区分6 30名
 重度障害者支援加算（Ⅱ）対象者 30名
- ③グループホームやすらぎ ホーム事業所数 14か所 定員 73名
 重度障害者支援加算（Ⅱ）対象者 48名
- ④グループホームあしり ホーム事業数 21か所 定員 82名
 重度障害者支援加算（Ⅱ）対象者 59名

【参考: 共同生活援助(グループホーム)の利用者状況等】

自閉症 (知的合併含)	発達障害 (LD/ADHD等)	知的障害	統合失調症	ダウン症	脳性マヒ	プラダウィ リー症候群	コフィンロー リー症候群	アンジェルマ ン症候群	合計
117	5	13	5	5	2	2	1	1	151人
77%	3%	9%	3%	3%	1	1%	1%	1%	100%

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計	平均支援区分
110	25	14	3	1	0	1	151人	5.61
72.8%	16.6%	9.3%	2.0%	0.7%	0.0%	0.7%	100%	

特定の職員に対して他害行為がある自閉症者A氏の行動改善

～トークンシステムを併用したチームアプローチ～

○40代男性、療育手帳A、自閉症、精神遅滞、障がい支援区分：区分6

児童施設退居後、1994年に厚田はまなす園に入居。

○障がい特性

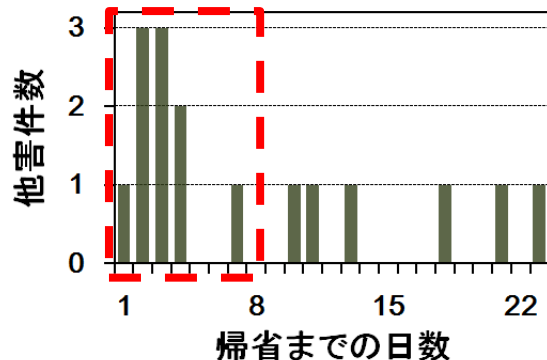
- ・強迫的行動：環境パターンの変化への嫌悪と不安、同じ質問、発言の反復
- ・常同行動：運動（体を回転さす）、聴覚（声を上げる、耳をふさぐ）

普段は落ち着いて生活しているA氏は、突然に表情を豹変させ、特定の職員に対して他害行為に至ることがありました。

他害行為を制止されたA氏は、「ごめんなさい」と言って生活場面に戻っていきます。

しかし、「ごめんなさい」と話すA氏の表情には『つらさ』が見られていました。

他害行為と帰省までの日数との関係



帰省日確認の反復への対応がA氏のフラストレーションを高めている可能性が考えられる。

対応の共通化

トークンシステムの導入

月	日	()
おはよう		
へやのカギあける		
しんぶんをよむ		
ごはん		
はみがき		
ホームルーム		
テレビ		
さぎょうとう		
ごはん		
はみがき		
ただかなかったカード	もってくる	
おちゃ		
テレビ		
さぎょうとう		
さんたくものをとりに行く		
ぎがえをかごにいれる		
おふろはいる		
テレビ		
ごはん		
はみがき		
ふとんをしく		
くすりぬる		
スケジュールをもらう		
へやのカギしめる		
おやすみなさい		

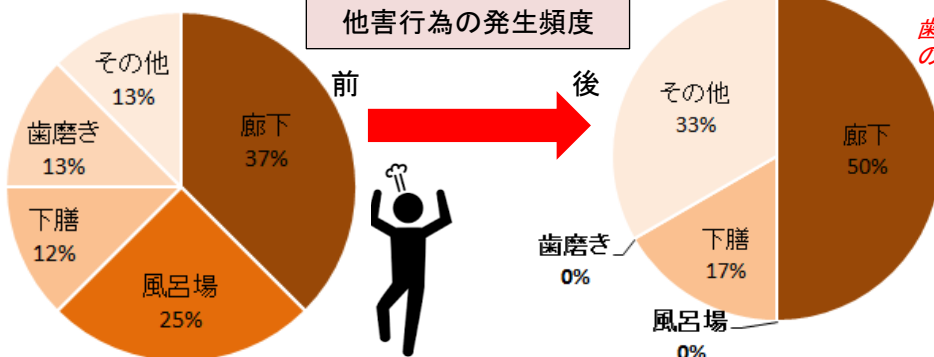
溜まったトークン（叩かなかった）カードとバックアップ強化子の交換

過去1年間のコンビニ外出購入履歴



ココ・コーラゼロ(黒)をバックアップ強化子として選択

他害行為の発生頻度



歯磨き、風呂場での他害行為がゼロ

A氏の障がい特性の一つである帰省日に対する同じ質問、発言の反復が他害行為の先行事象であることが分かった。

帰省日確認に対する一貫した対応とトークンシステムの併用はA氏の手害行為の行動改善に効果的であり、手害行為は取り組み前と比較して63%低減した。

社会福祉法人北摂杉の子会 (大阪府高槻市)

社会福祉法人北摂杉の子会 概要

- 設 立 : 1988年2月
- 法人所在地: 大阪府高槻市
- 理事長 : 松上利男
- 職員数 : 360名(平成29年4月1日現在)

～法人の特徴～

- ✓ 利用者の多くが強度行動障害。先駆的な取り組みを行っている
- ✓ 2012年には強度行動障害専門のGH「レジデンスなさはら」を開設。強度行動障害の暮らしの場のモデル的な支援を展開
- ✓ 障害特性に合わせてクロスの色、柄、カーテンの種類、斜光の加減の調整、壁に防音素材を貼るなど、個別に合わせた住環境を実現

【居住系サービス】

知的障害者生活施設 萩の杜 (施設入所支援・生活介護) / レジデンスなさはら (共同生活援助) / グループホーム とんだ (共同生活援助) / グループホーム みやた (共同生活援助)

【ショートステイ】

萩の杜ショートステイセンター ぶれす (短期入所・日中一時支援) / ぷれいすBe・ショートステイ (短期入所・日中一時支援)

【通所施設】

ジョブサイトひむろ (生活介護)、ジョブサイトよど (生活介護)、高槻地域生活総合支援センター ぷれいすBe (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)、ジェイ・ランチよど (就労継続支援B型)、LaLa-chocolat TAKATSUKI (就労継続支援B型)

【療育支援】

こども発達支援センター will (児童発達支援、放課後等デイサービス、発達障がい療育等支援事業) / 自閉症療育センター Link (児童発達支援、放課後等デイサービス、発達障がい療育等支援事業) / 児童デイサービスセンター an (大阪市発達障がい児専門療育機関 (児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業)) / こども発達支援センター az (大阪市発達障がい児専門療育機関 (児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業)) / サポートセンターPASSO (放課後等デイサービス事業)

【相談支援】

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか (発達障害者支援センター事業) / 生活支援センター あんだんて (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業) / こども相談支援センター wish (ういっしゅ) / (指定特定相談支援事業及び指定障がい児相談支援事業) / 人材育成研修室 (法人独自の公益事業〈講師派遣・研修〉)

【就労支援】

ジョブジョイントおおさか (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援) / ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ- (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)

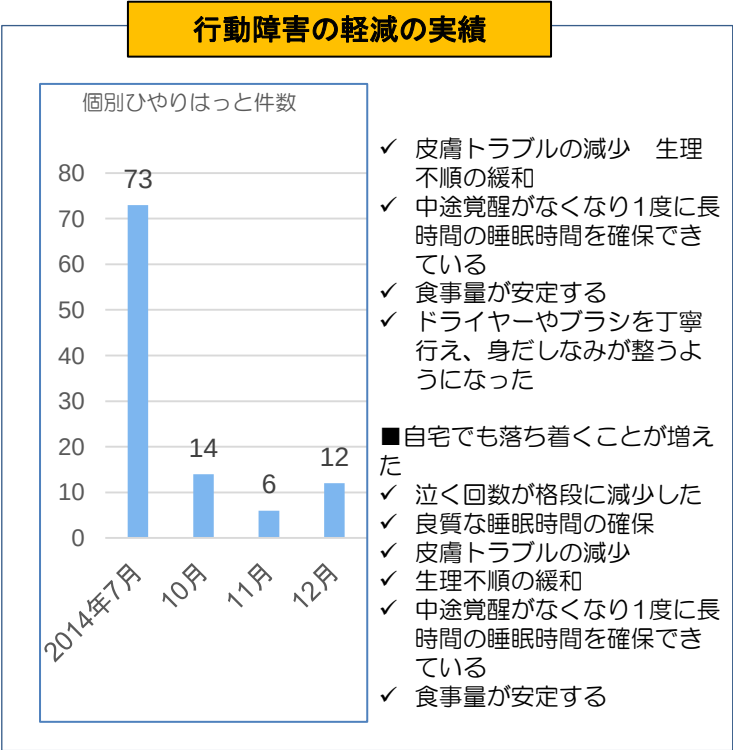
グループホームレジデンスなさはら A（強度行動障害専門G H）

レジデンスなさはら 平成24年4月開設（高槻市奈佐原3丁目15-1）
1番館女性7名 2番館男性7名 3番館男性6名 計20名
共同生活援助（グループホーム） 定員 20名

- 強度行動障がい呈する利用者
 - ・激しいこだわり → 家族を巻き込む激しいこだわり、激しい飲水
 - ・生活リズムの乱れ → 昼夜逆転、断眠
 - ・激しい自傷・他傷
 - ・激しい感覚の過敏性（聴覚過敏、視覚過敏）
 - ・激しい粗暴の方の機能低下 → 転倒、ケガのリスク 安全のため常時目が離せない
- 重度の知的障がい
 - ・最重度の知的障がい（1歳～2歳程度の知的発達）
 - ・難知性のでんかんのある利用者
 - ・医療的ケアの必要な利用者（経口摂食出来ず胃ろう造設）H27より支援員による医療的ケアを開始

障害支援区分	男性	女性	合計
区分6	11名	6名	17名
区分5	2名	1名	3名
区分4	0名	0名	0名
合計	13名	7名	20名

年齢	男性	女性	合計
20歳～30歳	2名	3名	5名
30歳～40歳	6名	4名	10名
40歳～50歳	4名	0名	4名
50歳～	1名	0名	1名
合計	13名	7名	20名



社会福祉法人旭川荘 概要

設立：1956年
法人所在地：岡山県岡山市
理事長：末光 茂
職員数：約2200名

法人概要

✓岡山県を中心に（一部愛媛県）、障害医療福祉、障害福祉、高齢者福祉、児童福祉など総合的に医療福祉サービスを展開し、施設数は約50、利用者約3000人、職員約2200人の規模を持つ。
✓自閉症、発達障害の支援においては、平成5年、国のモデル事業である強度行動障害特別処遇事業を、いづみ寮（障害者支援施設）にて開始する。
✓平成19年、発達障害児・者への支援力向上を目的に、法人内外における支援者の学びの場として「療育アカデミー」（各種学校）を開校する。
✓平成29年、障がいのある人が地域で自分らしく、生きがいを持って生活ができるための学びの場として「カレッジ旭川荘」（生活訓練＋就労移行支援）を開設する。

【障害医療福祉】

重症心身障害児、肢体不自由児の療育・指導、地域療育活動

【知的障害福祉】

知的障害者の生活介護、施設入所支援、地域生活支援、就労支援、自立生活支援、グループホーム事業、知的障害児の発達支援

【身体障害福祉】

身体障害者の生活介護、施設入所支援、地域生活支援、就労支援、リハビリテーション

【高齢者福祉】

特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホームの運営、老人デイサービス、在宅介護支援、訪問介護、訪問看護、グループホーム事業

【児童福祉事業】

乳児の保育・指導、情緒障害児の治療・指導、心身障害児の療育指導

【地域医療】

病院、診療所の運営

【相談支援】

重症心身障害児、身体障害者、高齢者福祉、発達障害に関する相談支援

【研修・研究】

社会福祉事業従事者の育成・研修、医療福祉に関する研究、医療福祉を通じた外国との交流

障害者支援施設いづみ寮 強度行動障害支援について

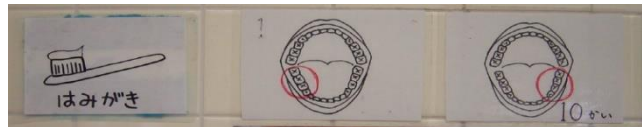
いづみ寮（障害者支援施設：施設入所支援、生活介護 昭和48年11月設立）

- ・定員数 施設入所支援 生活介護80名
- ・男女比 男性62：女性12
- ・平均年齢 50歳
- ・平均利用年数 不明
- ・最短利用年数 不明
- ・最長利用年数 44年（創立から利用）
- ・平均支援区分 5.6 （6⇒50名、5⇒21名、4⇒3名）

平成5年強度行動障害特別処遇事業を開始し、現在まで1～5期生、計19名の行動障害のある方の支援を実施（データは1～4期生の16名に関するデータのみ）

【対象者16名の入所時の状況】

- 利用者の事業参加の開始時年齢
- 15歳～31歳（平均年齢21.5歳）
- MA（精神年齢）1～2歳（6名）、2～3歳（7名）、4歳以上（3名）
- 重度知的障害を伴ったダウン症（1名）重度知的障害を伴った自閉症（15名）



	1期生				2期生				3期生				4期生				
ケース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	平均
1. ひどい自傷	5	0	5	0	0	3	0	0	3	0	0	3	3	3	0	5	1.87
2. 強い他傷	5	5	5	5	3	5	3	3	5	0	1	5	3	5	0	5	3.62
3. 激しいこだわり	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	4.75
4. 激しい物壊し	5	5	0	1	3	3	0	3	0	0	1	5	1	5	0	3	2.18
5. 睡眠の大きな乱れ	1	5	5	0	5	0	5	0	0	0	0	0	5	3	3	3	2.18
6. 食事関係の強い障害	5	5	5	3	5	0	5	5	5	5	1	5	5	3	0	3	3.75
7. 排泄関係の強い障害	0	5	5	0	3	5	5	0	5	5	5	5	0	0	5	5	3.31
8. 著しい多動	0	5	5	1	0	0	0	1	0	0	5	3	5	5	5	3	2.37
9. 著しい騒がしさ	5	0	3	3	5	5	0	0	1	5	0	1	0	3	0	1	2.00
10. パニックがひどく指導困難	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
11. 粗暴で恐怖感を与え、指導困難	5	5	5	5	5	5	5	5	0	0	5	5	5	5	0	5	4.06
合 計	41	45	48	28	39	34	33	27	29	25	28	42	35	42	23	43	35.1

取 り 組 み の 結 果

事業の経過

	ケース	開始時年齢	MA	得点の推移	改善率
1期生	1	15	2:3	41→17	58.5%
	2	25	1:4	45→19	57.7%
	3	15	1:7	48→15	73.3%
	4	18	4:8	28→6	78.5%
2期生	5	21	5:0	39→14	64.1%
	6	19	1:10.8	34→16	52.9%
	7	19	1:9.6	33→16	51.5%
	8	15	2:10	27→10	62.9%
3期生	9	27	1:9.6	29→10	65.5%
	10	24	1:8	25→19	24.0%
	11	24	2:3	28→19	32.1%
	12	16	2:7	42→8	80.9%
4期生	13	26	2:0(推定)	35→28	20.0%
	14	26	2:11	42→41	2.3%
	15	31	5:10	23→8	65.2%
	16	24	2:8	43→20	53.4%

※4期生のケース14、15、16は現在の得点

問題行動別に見た改善率

	入所時平均	退所時平均	改善率
1. ひどい自傷	3.75	1.87	50.1%
2. 強い他傷	4.14	1.28	69.0%
3. 激しいこだわり	4.75	3.25	31.5%
4. 激しい物壊し	3.18	0.90	71.6%
5. 睡眠の大きな乱れ	3.88	1.00	74.2%
6. 食事関係の強い障害	4.28	1.57	63.3%
7. 排泄関係の強い障害	4.41	1.66	62.3%
8. 著しい多動	3.80	1.80	52.6%
9. 著しい騒がしさ	2.90	1.09	62.4%
10. パニックがひどく指導困難	5.00	4.37	12.6%
11. 粗暴で恐怖感を与え、指導困難	5.00	1.53	69.4%

年齢別に見た改善率

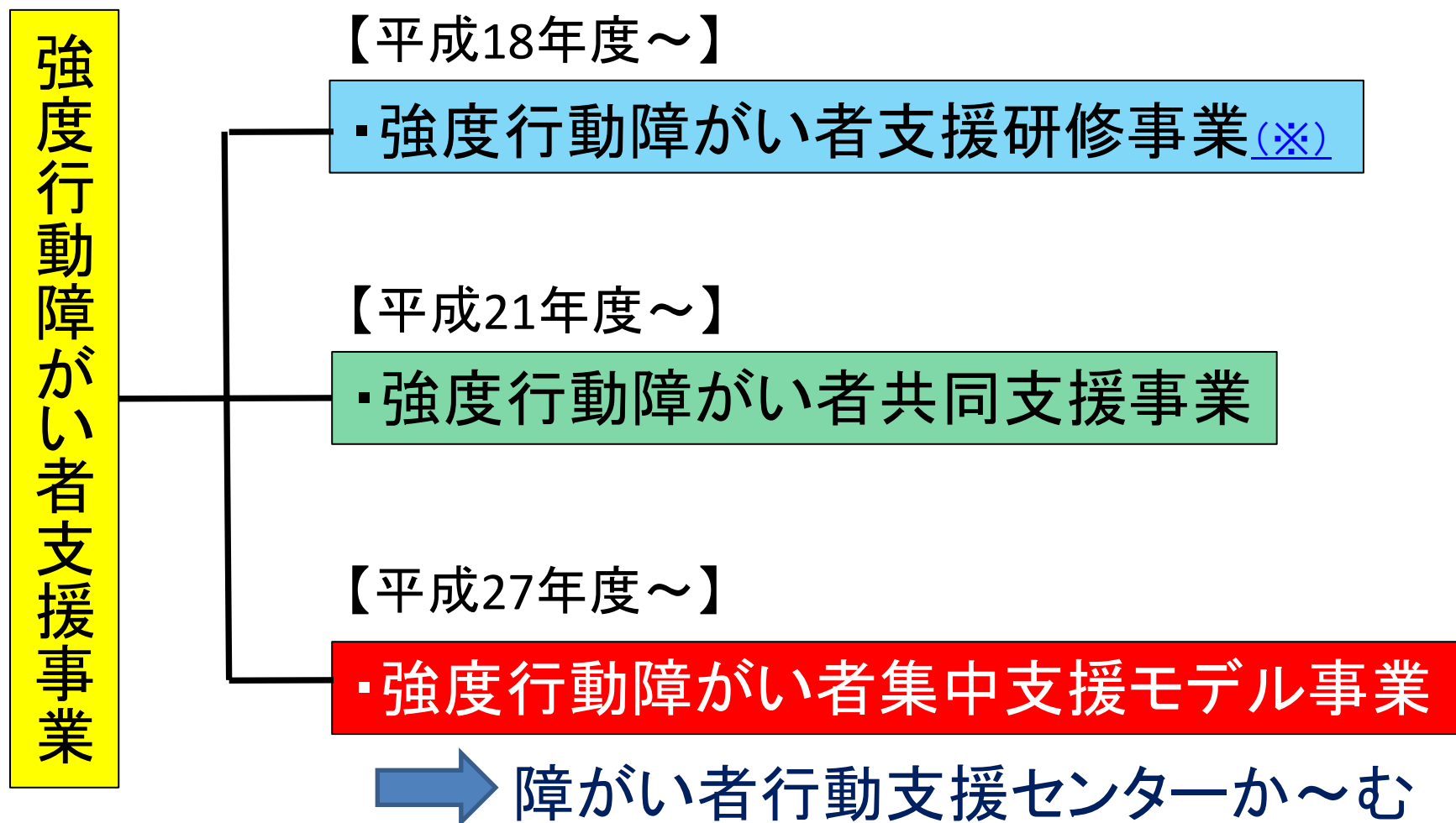
	入所時平均得点	退所時平均得点	改善率
①15～20歳 (7名)	36.1	12.5	65.3%
②21～25歳 (5名)	36.0	18.2	49.4%
③26歳以上 (4名)	32.2	21.7	32.6%

精神発達年齢別に見た改善率

	入所時平均得点	退所時平均得点	改善率
①1～2歳 (7名)	35.5	17.5	50.7%
②2～3歳 (6名)	37.1	19.1	48.5%
③4歳以上 (3名)	30.0	9.3	69.0%

社会福祉法人福岡市社会福祉事業団
障がい者行動支援センター か～む
(福岡県福岡市)

福岡市における強度行動障害への取り組み



障がい者行動支援センターか～むの概要

- 1.集中的な支援を行い、問題とされる行動の軽減を図る
- 2.個々の障がい特性に応じた支援の在り方を分析、検討し、実践する。
- 3.個々の支援の在り方を福祉サービス事業所と共有することで、福祉サービスの利用機会の拡充を図る。

業務内容

相談支援・コーディネート

- ・コーディネーターの配置
- ・福岡市内の相談支援事業所等からの相談に応じる。
- ・必要に応じて、事業所や家庭を訪問し、本人や環境のアセスメント(評価)などを行う。

「か～む」における集中支援

- ・共同生活援助事業。ただし定員は最大2名
- ・原則としてマンツーマン対応。日勤、夜勤の2交代制で24時間体制で支援
- ・アセスメント、支援計画に基づき、個々の特性に配慮し、集中的に支援を行う(3ヶ月程度)
- ・個々の利用者の行動分析のために記録を作成する。
- ・訪問による支援や日中活動系事業所の活用など、柔軟な支援を行う。
- ・集中支援終了後の受け入れ先(グループホーム、日中活動系事業所、在宅支援事業所など)を利用し、支援を引き継ぐ。

標準的なスケジュール

1ヶ月目

- 行動観察、アセスメント

2ヶ月目

- 行動問題へのアプローチ
- 生活リズムの確立

3ヶ月目

- 社会資源の活用、QOLの向上
- 地域の福祉サービスへの移行

地域移行⇒利用終了



か～むの集中支援

- ・定員：2名
- ・利用期間：3か月
- ・24時間支援
- ・マンツーマン対応



情報交換・共同で支援

情報交換・共同で支援

■支援拠点での支援を、集中支援終了後の受け入れ事業所へ段階的に引き継ぎます。

■引き継ぎ後も、定期的にご家族や受け入れ事業者と情報交換を行うなど、フォローアップ支援を行います。

集中支援終了後の生活

- ・グループホーム
- ・施設入所
- ・生活介護
- ・行動援護
- ・居宅支援

